



学校だより

10月 第393号

令和5年9月30日 発行

横浜市立六つ川西小学校

(TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>



～ 「生きる力」を育てる体験活動 ～

学 校 長

日中に暑さを感じながらも、朝晩に少し涼しさを感じられる季節となりました。

とは言え、未だに熱中症や感染症への不安は、続きますが、令和5年度の運動会、避難訓練、宿泊体験学習や修学旅行を含む学校行事を、これまで滞りなく実施することができています。

学校を支えてくださる多くの皆様方のご支援の賜物と心から感謝します。

令和5年度の前半を振り返り、3年前、コロナ禍の同じ時期、10月の学校だよりのテーマとして選んだ～「生きる力」と「体験活動」～を今一度読み返してみました。

巻頭言では、「人間関係をうまく作れず集団生活に適応できない子どもの増加や規範意識の低下、物事に創造的に取り組む意欲の欠如など、様々な課題が顕在化する中、『体験活動の充実』が『生きる力』を育む『鍵』となるのではないか」と、感想を述べています。

今年度、6月末に実施した5年生の子浦宿泊体験学習では、子どもたち一人ひとりが「なかよく協力 安全に学習 子浦をたのしもう！」というスローガンのもと、大自然の中で「あじの開きづくり」や「ハイキング」、「カッター・カヤック」「磯遊び」など様々な海の活動に取り組みました。三日間の生活を共にすることで、子どもたちの絆が深まり「他者と関わる力」が身に付いたように感じます。

9月末、6年生の日光修学旅行でも子どもたちは新たな力を身に付けました。

コロナ禍で中断された「飯ごう炊さん」は、薪から火をおこし、飯ごうを使って米を炊き、カレーライスを作る体験活動です。はじめから火おこしの準備が整う班もあれば、なかなか火が着かない班もありました。燃える炎の維持に力を合わせながらもすぐに消えてしまったり、煙が目にも染みるからと逃げ出してしまったり、様々な困難にどのように対処しようかと考え、立ち向かうことができたからこそ、カレーが完成したときに、みんなで喜び合うことができたのだと思います。

子どもたち自身が、修学旅行のめあてとしていた「団結力」と「協力」の大切さを深く実感した瞬間でもありました。

自然にふれ、文化にふれ、仲間との協力を通じて成長し、公衆道徳を学ぶ。

これらの目標にもあるように「体験活動」によって得られる経験の一つひとつが、子どもたちに新たな視野を開かせ、未来に向けての力強いスタートを切らせることにつながるのです。文化、歴史、自然環境などを身近に学び、教室内では得られない実体験を積むことができる「体験活動」は、楽しさや思い出を提供し、学習のモチベーションも高めてくれました。

「生きる力」を育む「鍵」は、やはり「体験活動」であることを実感します。



保護者の皆様 ～創立45周年記念写真のお申し込みについて～

ネット閲覧期間及び写真申込期間 9月29日(金)～10月15日(日)

別配布のプリントでマイページIDとアクセスコードをご確認ください。



<http://ephoto.jp/>

*購入希望の地域の皆様は、国際総合企画 TEL 045-790-1130 へお問い合わせください。